



学会ホームページ <http://jasce.jp>

076号 (2024年6月30日)

目次

第20回大会(福岡)情報

『協同と教育』への投稿募集中

『協同教育実践論文集』創刊号発行に向けた執筆・投稿規定と投稿区分

ワークショップ<ベーシック>を沖縄で開催

学会ワークショップ 今後の予定(判明分)

第11回オンライン講座「日本の協同学習」のご案内

各地の研究会・勉強会

第20回大会(福岡)情報

6/1より参加および発表のお申し込み受付を開始しました。

7/31までの早期参加申込(振込完了)での参加費は会員5,000円です。

多くの皆様のお申し込みをお待ちしております。

第20回大会を2024年10月26日(土)～27日(日)に中村学園大学・中村学園大学短期大学部(福岡市城南区)で開催します。本大会は「よい理論ほど実践的であるー協同の理論と実践の往還ー」をテーマ

に、協同を基盤におく教育や学習が発展し、さまざまな領域に浸透していくために、理論にもとづく実践や実践の気づきにもとづく理論作りといった理論と実践の往還が生まれる場になるよう準備を進めております。1日目の午後には早稲田大学の河村茂雄教授をお招きして記念講演を開催します。多くのみなさまの参加をお待ちしております。

なお、福岡市の週末は観光需要の高まりによってホテル等の予約が難しくなる場合があります。どうぞお早めに宿泊のご予約をご検討ください。中村学園大学は地下鉄七隈線沿線にあり、博多駅や天神地区からのアクセスは良好です。

1. 大会テーマ

「よい理論ほど実践的であるー協同の理論と実践の往還ー」

2. 大会日程と会場

1日目: 2024年10月26日(土)

2日目: 2024年10月27日(日)

会場: 中村学園大学2号館(福岡市城南区別府5-7-1)

3. 発表形式

口頭発表(25分) 研究発表と実践報告の2タイプ。

ラウンドテーブル(120分)

ワークショップ(120分)

4. 発表申込募集期間

開始日 2024年6月1日(土)

締切日 2024年7月31日(水)

大会で発表できるのは、令和6(2024)年度までの会費完納者に限ります。

5. 発表要旨原稿受付

開始日 2024年6月1日(土)

締切日 2024年7月31日(水)

早期参加申込と参加費の支払いを完了する必要があります。

6. 参加申込と参加費支払い期間

【早期参加申込】2024年6月1日(土)～7月31日(水) ※会員のみ

【事前参加申込】2024年8月1日(木)～10月18日(金)

【当日参加申込】2024年10月26日(土)～10月27日(日)

早期参加申込と事前参加申込は振込完了をもって申し込み完了となります。

大会参加費とその振込口座については学会ホームページにてご確認ください。年会費の振込口座とは異なります。

7. イブニングセッション

1日目の夕方にイブニングセッションとして立食形式で参加者間の情報交換の場を設けております。詳細については学会ホームページにてご確認ください。

8. 大会に関する問合せ先

日本協同教育学会 第20回大会大会実行委員会

JASCE

〒814-0198 福岡市城南区別府
5-7-1

中村学園大学 野上 俊一 研究室内
E-mail : taikai@jasce.jp

お問い合わせはE-mailでお願い
致します。

第20回大会実行委員会 野上俊一

『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿を随時受け付けています(次号は第20号です)。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月以上を要します。みなさまの積極的な投稿をお待ちしております。

『協同教育実践論文集』創刊号発行に向けた執筆・投稿規定と投稿区分

①『協同教育実践論文集』執筆・投稿規程

②『協同と教育』並びに『協同教育実践論文集』の投稿区分に関する申合せ

上記を学会HPに掲載していますので、ご確認ください。『協同教育実践論文集』投稿者が執筆のサポートを受けることを希望する場合は、学会員の中から世話人を立てることができます。みなさまの投稿や問い合わせをお待ちしています。

ワークショップ<ベーシック>を沖縄で開催

4月27日(土)~28日(日)の両日、名桜大学主催の協同学習ワークショップ(ベーシック)が開催されました。安永悟先生(久留米大学)を講師にお招きし、沖縄県内の看護教育に携わる方を主として31名の参加者が集まりました。

ワークショップは終始和気あいあいとした雰囲気が進み、講座の合間



の休憩時間にも参加者同士が談笑しおやつを分け合いながら交流する姿が見られました。受講中は一転して、講師と参加者の集中力とエネルギーで会場が一体となりました。普段は看護系大学や専門学校で教員として働いている参加者が多く、実習で気になる学生の様子や講義の中でのグループ学習の困りごとなど実践的な話題も挙がっていました。実際、指導者として思うように学生の学ぶ力を引き出せないことに葛藤することや、その裏にある学生の想いに向き合う難しさを感じることも現場では多い中、ワークショップを通じて自らが協同学習の場に

入り込み、学習者の立場から学びの場を捉えることができた参加者も多かったようです。「これからの実習や授業に、協同学習の技法を取り入れたい」、「受講前にはこれまでうまく出来なかったもやもやした気持ちや現場での課題があったが、受講後はワークショップで体得したことをどう活かそうかというワクワクした気分が変わった」という参加者の感想も寄せられました。もやもやがワクワクに変化したその先には、学生との学び合いにつながる兆しと希望を強く感じました。

沖縄県は本土と陸続きではなく、なかなか新しい風の入りにくい一面があります。今後も継続して協同学習の風を沖縄に吹かせ続けることができればと思います。

運営協力者：比嘉真子、比嘉笑美香

第11回オンライン講座「日本の協同学習」のご案内

9月7日(土) 14時から、第11回オンライン講座「日本の協同学習」

学会ワークショップ 今後の予定(判明分)

<ベーシック>

8月3日(土)、4日(日)【主催】 申し込み受付中

会場：岡山大学教師教育開発センター東山ランチ(岡山県岡山市)

講師：サルバション有紀

2025年3月22日(土)、23日(日)【主催】 9月申し込み開始予定

会場：和洋学園九段スカイビル(東京都千代田区)

講師：佐瀬竜一・伏野久美子

<アドバンス>

2025年3月8日(土)、9日(日)【主催】 9月申し込み開始予定

会場：創価大学(東京都八王子市)

講師：水野正朗・関田一彦

最新情報、参加のお申し込みは学会HP (<https://jasce.jp/1031workshop.php>)からお願いいたします。

JASCE

を開催いたします。この講座は、学会設立15周年を記念して会員の皆さまに配本した『日本の協同学習』(2019, ナカニシヤ出版)をテキストとして1章ずつ学ぶものです。第11回は中部大学の原田信之先生を講師としてお迎えし、第12章「ポスト近代型能力の育成と協同学習」のご講話とご講話に基づく参加者間の交流を予定しています。学会ホームページから参加の申し込みをされた方にZoomのアドレスを送付いたします。テキストをご準備いただければ、未会員の皆様の参加も大歓迎です。参加費は無料です。皆さまのご参加をお待ちしております。

研修委員会(kenshu@jasce.jp)

各地の研究会・勉強会

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇第53回「協同学習を用いた看護教育研究会」を5月18日(土) 13時30分から17時30分まで、グランフロント大阪アクティブスタジオにて開催しました。参加者は24名でした。

今回は、講師に東海学園大学教授(日本協同教育学会副会長)の水野正朗先生をお迎えし「高校教育の現状と看護基礎教育への接続・協同学習の意義」をテーマに開催しました。また創価大学からは関田一彦先生がご出席くださいました。前半は、「看護学生のレディネスを理解するために、新学習指導要領にもとづく日本の学校教育について」、後半は、「看護基礎教育に期待される学校教育との接続・連携のあり方、看護基礎教育における協同学習の意義」について理解を深め合いました。新た

な時代に向けて看護学生に求められる資質・能力、学生たちの主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、習得・活用・探究の学習プロセスを教員がどのように組み立て工夫していけるのかについて、グループディスカッションと質疑応答で全体共有しました。関田先生からは、科目・授業の捉え方、協同学習の意義についてご指導をいただきました。

研究会後のアンケートでは、「いつもはどうしても看護学生としての今に焦点を当てがちであったが、これまで彼らが行ってきた教育システムにしっかり着目して考えることができた」「協同に取り組む意義や科目や単元だけでなくカリキュラム全体をどのように捉えるかについても改めて考えることができた」「新学習指導要領の理解を明確にして授業実践のレベルにまで落とし込むことができた」「真正の学びに向かって単元をつらぬく問いを立てること。リアルな学習目標、それに適した学習課題や学習活動を組み立てることについて腑に落ちた」「学習指導要領がどのように変化してきたか、これから何が求められていくのかがよく理解できた」「習得⇒活用⇒探究の3つがセットになって学習活動が行われていくこと、それらが相互に関連しながら更新されていくということがよく理解できた」「看護教育において使える知識を学んでもらうためにどうするか、自問自答できたのはとても良い機会となった」「グループでの意見交換や他のグループの発表はとても参考になった」などの感想を寄せていただきました。

終了後は、懇親会(世界のビール博物館)に16名の方が参加してくだ

さり、有意義で楽しい語らいができました。(文責:緒方巧・卜部紘子)



◇お知らせ:2024年度の本研究会の企画運営は、代表:緒方巧、副代表:卜部紘子、企画・運営委員:荒巻富美、織田千賀子、小八重和子、堀川真知子で行います。

◇第54回のご案内:8月17日(土)13時30分から17時30分までグランフロント大阪アクティブスタジオで開催します。クリティカルケア認定看護師をお招きし、テーマは「協同学習(ジグソー)を用いたICU看護師の看護実践力を高める教育」です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

連絡先:研究会代表 緒方 巧 (t-ogata@baika.ac.jp)

きょう探研(きょうどう探究型授業づくり研究会)

◇協同学習型授業デザインプロジェクト

第2回『実践的な視点から協同学習型授業デザインを見直そう』

対面(オンライン併用)…6月2日(日) 常磐会学園大学 14:00~17:30

協同学習の授業デザインを考えるプロジェクトの第2回目を行いました。このプロジェクトは協同学習に基づく小・中・高等学校での授業

JASCE

づくりはどのようなものかを考え、それを各学校の実践につなげていこうとするものです。

今回はその第2弾で、現役の小中学校の教員の先生方を中心に「協同学習の考え方に基づく授業デザインをもとに、どのような授業が可能なかを検討する」というテーマで開催しました。

実際の内容は、最初に協同学習の考え方、第一回で検討した協同型授業デザインの説明をした後、それぞれ協同学習デザインに基づく授業プランを考えてもらい、その後意見交流を行うというものでした。



今後もプロジェクトを継続させ、多くの実践者の方と授業づくりについて意見を重ねていきたいと思えます。

ご意見ご要望がありましたら、遠慮なく下記の連絡先までよろしくお願ひします。

連絡先：きょう探研 代表 中村 哲也 (常磐会学園大学 nani7272@yahoo.co.jp)

(全地域)

全国看図アプローチ研究会

◇「ビジュアルテキスト 教材提案型動画」の紹介です。

看図アプローチは「見ること」を重視した協同学習促進ツールです。看図アプローチではビジュアルテキストが大切な役割を果たします。私

たちは協同学習を引き出す「力」を備えた、さまざまなビジュアルテキストを制作し提案してきました。これまで提案してきたビジュアルテキストの多くは絵図や写真等の静止画でした。今回、看図アプローチの可能性を広げるために、いくつかのテーマを決めて「教材提案型の動画」を制作してみました。

ひとつはスズメの「くちばし」にフォーカスした探究系動画です。スズメ1～4まであります。癒し提供系動画は、癒し系の定番シマエナガを取り上げています。さらに活力提供系動画もあります。こちらはオオアカゲラのエネルギーギッシュな動きを見ることができます。すべてオリジナル動画です。視聴いただくことで看図アプローチの新しい可能性を拓いていくことができれば幸いです。以下に動画のリストを挙げておきます。

探究系動画

【ビジュアルテキスト・教材提案シリーズ1】スズメ1

https://youtu.be/PrjVGbV_Khg

【ビジュアルテキスト・教材提案シリーズ2】スズメ2

<https://youtu.be/XA0Z9yo6l70>

【ビジュアルテキスト・教材提案シリーズ4】スズメ3

<https://youtu.be/tB5fpMVgBmM>

【ビジュアルテキスト・教材提案シリーズ5】スズメ4

<https://youtu.be/zqfUwckrIS4>

癒し提供系動画

【ビジュアルテキスト・教材提案シリーズ3】シマエナガ

<https://youtu.be/nxqGegYpnt4>

活力提供系動画

【ビジュアルテキスト・教材提案シリーズ6】オオアカゲラ

<https://youtu.be/ETX2lmznsWo>
連絡先：研究会事務局長 石田 ゆき (kanzu.approach.office@gmail.com)

Taos Institute Japan 2024 Festival

◇昨年度、貴学会に協賛いただいたタオス・インスティテュート・ジャパン (TIJ) の2024年Festivalの開催が決定しました。今回は、9月14日(土)、15日(日)の二日間にわたり、明治大学中野キャンパスにて開催します。基調講演にAppreciative Inquiryの第一人者、ダイアナ・ホイットニー氏(Diana Whitney)をお迎えします。AIとは「組織の真価を肯定的な質問によって発見し、可能性を拡張させるプロセス」であり、組織学や経営学中心に注目されている方法です。日本にAIを紹介し続けている渡辺氏が通訳をし、直接対話できる貴重な機会ですので、ご期待ください。その他、メンバー企画のワークショップやセミナーもあり、どなたでも参加することができますので、社会構成主義に興味のある方はぜひご検討ください。詳しくは、以下のHPまでお願いします。

大会詳細

<https://taosinstitutejapan.com/%e3%83%9b%e3%83%bc%e3%83%a0%e3%83%9a%e3%83%bc%e3%82%b8/tij-fes-2024/>

タオス・インスティテュート・ジャパン 共同代表 鮫島輝美・東村知子